

副腎ホルモン機能不全 (高カリウム・低ナトリウム血漿モデル)

手術基本情報

- **系統**：ラット Crl:CD(SD)、マウス Crl:CD1(ICR)など
- **性別**：雄・雌
- **週齢**：7週齢以上
- **手術時間**：ラット 10-12分
- **術後観察期間**：2日間
- **微生物グレード**：ジャクソンラボラトリージャパン SPF項目
- **麻酔薬**：ケタミン・キシラジン混合麻酔薬
- **鎮痛剤**：ブプレノルフィン ラット0.01-0.05mg/kg、マウス0.05-0.1mg/kg SC. SD 手術当日のみ
カルプロフェン 5mg/kg S.C. SID 手術当日から術後2日まで
- **抗生物質**：投与なし(必要に応じて投与)

処置概要

1. 体重測定及び一般症状観察を実施後、ケタミン・キシラジン混合麻酔薬を腹腔内に投与する。
2. 背部を除毛し、イソジン液及び70%エタノール液を用いて術野を消毒する。
3. 背部皮膚を正中切開後、鑷子を用い鈍性に右側筋層の切開をする。
4. 鑷子を用いて脂肪組織中の右副腎を鈍性に摘出する。
5. 左側副腎摘出は右に準拠する。
6. 止血を確認後、クリップを用いて背部術創を縫合する。

術後は飲水を通常水から0.9%生理食塩水に切替えて飼育する。

※本書式に記載された術式は、ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社 手術グループ 手順書「ラット副腎摘出」(承認No.1264)、「マウス副腎摘出」(承認No.1265)の内容に準ずる。

手術動物に関する注意事項

ご依頼をいただく週齢、雌雄により配送時、副腎を摘出したことによる輸送のストレス負荷に耐えることができず、納入時に死亡する個体が発生するケースがございます。ご発注匹数については余裕をもってのご依頼をお願いします。

摘出した副腎は、「臓器確認シート」に置き、個数、形状の確認を行い、不完全摘出個体の発生を防止しておりますが、納入後に、副腎摘出手術の指標となる血中カリウム等の測定、試験終了時には解剖により摘出されていることをご確認ください。

参考文献

1. An ultrastructural stereological study of accessory adrenocortical glands in bilaterally adrenaectomised rats. J. Anat. (1989), 165, pp. 107-120

配送情報

- 輸送箱：プラスチッククレート
- 梱包形態：ラット1-4匹/クレート)、マウス1-8匹/クレート



お問い合わせ

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-17-6 イノテックビル11F
TEL: 045(474)9350 Email: ask@jax.or.jp